

第1部 令和3年度の主な出来事

第1部では、令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）の海洋に関する主な出来事をまとめています。

令和3年

4月 「洋上風力の産業競争力強化に向けた技術開発ロードマップ」策定

気候サミット「2030年度に温室効果ガスを2013年度比で46%削減、さらに50%の高みに向け挑戦を続ける」目標宣言

5月 国際海事機関（IMO）第103回海上安全委員会開催

第3回北極科学大臣会合 アジア初開催

「改正海上交通安全法」「改正港則法」「改正航路標識法」成立

「改正地球温暖化対策推進法」成立

6月 「改正瀬戸内海環境保全特別措置法」成立

G7 コーンウォール・サミット 開催

「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」改訂

7月 「改正海上交通安全法」「改正港則法」「改正航路標識法」施行

第9回太平洋・島サミット 開催

オマーン沖 航行中の日本企業所有石油タンカーに攻撃

海底資源開発での環境影響評価に関わる調査手法の国際標準規格 発行

8月 青森八戸港 パナマ船籍貨物船座礁

海底火山「福徳岡ノ場」11年ぶりに噴火を確認

「海事産業強化法」施行

北極域研究船 建造開始

9月 英空母クイーン・エリザベス 日本初寄港

再エネ海域利用法に基づく促進区域として新たに1区域を指定



気候サミット
提供：内閣広報室



気候変動・自然をテーマとしたセッション（Number10提供）

提供：内閣広報室
海洋環境の保護等を含む行動をとることを「自然協約」としてコミット



福徳岡ノ場 噴火の様子（8/13）
提供：海上保安庁

- 9月 海事産業強化法に基づく事業基盤強化計画を初めて認定
- 10月 IMO 第104回海上安全委員会 開催
- ノーベル物理学賞 現在の気候モデル開発の基礎を築いた真鍋淑郎氏らが受賞
- 国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15 第1部） 開催
- 「地球温暖化対策計画」「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」閣議決定
- 「気候変動適応計画」改定
- グリーンイノベーション基金「次世代船舶の開発」プロジェクトのテーマを採択
- 国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26） 開催（10/31～11/13）
- 11月 「改正航路標識法」施行
- 自衛隊によるソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動 1年延長決定
- 令和4年の商業捕鯨捕獲枠 決定
- IMO 第77回海洋環境保護委員会 開催
- 福岡県博多港 パナマ船籍貨物船乗揚げ
- 12月 中西部太平洋まぐろ類委員会（WCPFC）クロマグロ大型漁の漁獲枠15%増 正式決定
- 海上保安体制強化に関する関係閣僚会議 開催



COP26世界リーダーズ・サミットでスピーチを行う岸田総理
提供：内閣広報室



護衛艦による民間船舶の護衛
提供：防衛省

令和4年

- 1月 日本提案の海底地形名が国際会議で承認
- トンガ火山噴火
国際緊急援助隊・自衛隊部隊派遣
- グリーンイノベーション基金「洋上風力発電の低コスト化」プロジェクト（フェーズ1）のテーマを採択
- 2月 「自動運航船に関する安全ガイドライン」策定
- ワン・オーシャン・サミット（One Ocean Summit） 開催
- 第5回国連環境総会再開セッション（UNEA5.2） 開催
- 3月 海上自衛隊 最新型潜水艦「たいげい」就役



UNEA5.2
海洋環境等におけるプラスチック汚染対策に関する法的拘束力のある国際文書の策定に向けた政府間交渉委員会の設立が決定